(一社) 徳島地域エネルギー

熱利用転換で環境を守り未来につなぐ 木質バイオマス地域アライアンス

活動地域 🚅 日本全域



ボイラー導入支援

新規熱利用

地域アライアンス形成

2.054 トン CO₂排出削減

今年度計画の達成度

90%

1 地域

日標達成度

95%



苦労した点と工夫した点

■苦労した点

①木質バイオマス熱利用に対する理 解。②需要側の事業者、山側の燃料 製造者と設計・設置技術者の育成。 ③自治体等の慎重な決断。④新型コ ロナウイルス感染症の影響

■工夫した点

①地域に出向き、講演や研修等を繰 り返し行った。②と③の条件が揃い、 意欲的な地域に対し、粘り強く活動 を行った。④対策を行い、対象地域 を絞り、規模を小さくした。

温暖化防止、地域環境の保全、地域活性化のために、木質バイオマス熱利用 の導入が有効である。その方策として地域ごとのアライアンス (同盟) を組 織し、持続的に推進する。

木質バイオマス熱利用地域アライアンスを6年間に16組 (今年2組) 形成する。ボイラー導入支援で CO_2 排出量を6年後に年間4,680トン (今年810ト ン) 削減する。

活動内容と成果

CO₂を排出せず、地域資源を活用し、地域経済にも貢献する地域アライアン スを育成した。単年度(6年間通算)の成果は、アライアンス形成1地域・対目 標50% (17地域106%)。研修会等による実務人材育成は延べ148人 (実質55 人) であった。木質バイオマス導入・転換簡易診断は26施設289% (118施設 174%)、ボイラー導入支援は新規8施設3,170kW (35施設100%、 12,155kW 227%) であった。推定CO₂排出削減は2,054トン/年285% (8,997トン/年192%) であった。





全助成期間の活動を振り返って

本活動の研修やアライアンス形成を通じて木質バイオマス熱利用への 理解が得られた。最新のボイラーにより、木質バイオマス熱利用の有用 性を示すことができた。実際にボイラー導入に至り、 $①CO_2$ 排出削減、 ②地域で資金が廻る循環経済や、アライアンスによる協業化により、地 域活性化に貢献できることを実感した。アライアンスには、地域のエネ ルギーに関心がある団体、環境に関心がある自治体や全国規模の企業 が多数参加した。

∓770-0935 徳島県徳島市伊月町1-32 電話:088-624-8375

E-mail: info@tene.jp HP: https://www.tene.jp







日本の木質バイオマス熱利用は端緒についたばかりであり、本法人の活動の柱として木質バイオマス熱利用の拡大、そのための啓発活動、導入 支援を続ける。同時にアライアンス形式の提案によって地域に根ざした脱炭素・地域循環経済の推進も継続する。また、2022年度からは、地域 と一緒に燃料チップを製造する実証実験を新たに関西地区で開始し、燃料供給の問題解決を含めた熱利用の全国へのモデルケースとする。